

13. 有害生物出現調査及び情報提供委託事業（大型クラゲ出現調査及び情報提供事業）（受託研究費）

担当者 調査研究部 渡野邊雅道
協力機関 渡島西部地区水産技術普及指導所

（1） 目的

全国的な大型クラゲ動態調査に協力して、その出現分布情報を迅速に把握し、これを漁業者などに提供・広報する。このことによって、今後の出現予測や被害防止のための施策に役立てるとともに、操業の効率化と資源の効率的利用に資する。

（2） 経過の概要

ア 定置網、底建網における目視調査

2010年9月から12月まで、松前町白神沖（定置網）、上ノ国町汐吹沖（底建網）および函館市臼尻沖（定置網）を調査定点とし、漁業者もしくは漁協職員から大型クラゲ（主にエチゼンクラゲ）の入網情報を得た（図1）。

松前町の定点については毎日入網状況の記録を依頼し、得られた情報は週に一回の頻度で(社)漁業情報サービスセンター（以下、JAFIC）へ送付した。他の2地区については入網が見られた時のみの記録を依頼し、得られた情報は適宜JAFICに送付した。

イ 調査船による目視調査

2010年9月から12月まで、当场試験調査船金星丸がC TD観測を行った地点で大型クラゲの目視調査を行った。調査は、道西日本海の70点、道南太平洋の128点、合計198点で実施した。調査結果は、適宜JAFICへメール送信した。

ウ 成果の広報

本事業の結果は、他地区の結果とあわせてJAFICおよび北海道水産林務部水産振興課のHPで公表した。

（3） 得られた結果

ア 定置網、底建網における目視調査

調査定点における大型クラゲの出現は、12月中旬に松前地区における1個体のみであった（表1）。

イ 調査船による目視調査

調査船による沖合域での目視調査では、大型クラゲは目撃されなかった（表2）。

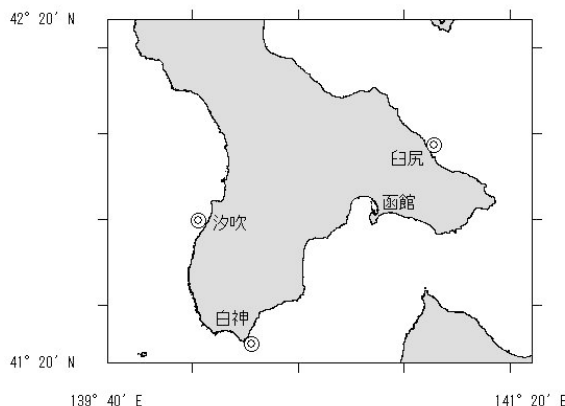


図1 調査地点図（◎：調査定点）

表1 調査定点における大型クラゲの出現数

	上ノ国	松前	臼尻
9月上旬	0	0	0
中旬	0	0	0
下旬	0	0	0
10月上旬	0	0	0
中旬	0	0	0
下旬	0	0	0
11月上旬	0	0	0
中旬	0	0	0
下旬	0	0	0
12月上旬	0	0	0
中旬	0	1	0
下旬	0	0	0

表2 調査船による大型クラゲの目撃数

調査期間	海域(調査点数)	目撃数
9/6-7	道西日本海(9)	0
9/14-16	道南太平洋(35)	0
9/27-10/1	道西日本海(15)	0
10/5-6	道西日本海(9)	0
10/13-20	道西日本海(22)	0
10/25-29	道南太平洋(52)	0
11/11-12	道南太平洋(8)	0
11/24-27	道南太平洋(33)	0
12-6-14	道西日本海(15)	0